

平成18年4月には、在学期間を通じて、生き方や進路、職業選択などを考えながら、人生の目標を持って学生生活が送れるように支援するとともに、学生への就職支援を充実させていくことを目的として、キャリア支援センターを設置しました。

### 特待生（学業）制度

特待生（学業）制度は、学生の勉学を奨励して、学業、人物共に優れた有為な人材を育成するとともに、学生支援の充実と活性化を図ることを目的に、今年度、創設した制度です。

特待生の資格は、学部長又は研究科長が推薦する、学業成績及び人物共に特に優れていると認められる2年次以上の学生で、人数は、学部学生については、各学部ごとに各学年2人、大学院学生については、各研究科ごと（医学系研究科及び工学研究科は各課程ごと）に、2年次～修了年次までの学生数が1人～50人の場合は1人、51人以上の場合は50人ごとに1人増で、今年度は、学部長又は研究科長が特に推薦する学生若干人を含め、58人の学生を特待生に決定しました。

特待生に決定された学生については、当該年度の後期分の授業料の全額が免除されるとともに、学長表彰が行われます。



特待生に表彰状を授与する一井学長



特待生に贈呈したオリジナル携帯ストラップ

### 香大生の夢 チャレンジプロジェクト（学生支援プロジェクト経費）

今年度、学生の自主性、積極性、創造性等を高め、学生生活の活性・充実に資するとともに、大学の活性化を図ることを目的に、魅力的・独創的なプロジェクト事業に対し、総額1,000万円の予算を配分する「香大生の夢 チャレンジプロジェクト」を、創設しました。

応募資格は、本学の学部学生・大学院学生で、①学生提案プロジェクト②学内イベント③課外活動の3部門で公募したところ、39件もの応募があり、審査の結果、「オリジナル二足歩行ロボット開発プロジェクト」や「手品を生かした地域貢献プロジェクト」など、28件の事業を採択しました。

採択された事業については、年度末に、成果発表会の開催を予定しています。

### 学長への提案箱

学生の視点に立った大学づくりの一環として、学生からの提案、意見、要望等を聞くために、今年度、各学部、教育・学生支援室及び大学会館内の8か所に、「学長への提案箱」を設置しました。

提出された提案等については、学長自らが、本学のホームページ上において回答することになっています。

また、教育・学生支援室に「何でも相談窓口」を設置し、修学相談や生活相談など、学生が抱える様々な悩みや相談を受け付ける窓口を設けています。



学長への提案箱

## キャンパス散策（香川大学）



香川大学は、旧香川大学と旧香川医科大学が、平成15年10月に統合して発足しました。旧香川大学は、昭和24年の5月に、香川師範学校・香川青年師範学校を母体とした学芸学部及び高松経済専門学校を母体とした経済学部の2学部をもって発足しました。昭和30年7月には、香川県立農科大学を国に移管して農学部を設置。昭和41年4月には、学芸学部を教育学部に改称しました。その後、昭和56年4月に法学部を設置し、平成9年10月には工学部を設置しました。旧香川医科大学は、昭和53年10月に開学し、昭和58年4月には、医学部附属病院を設置。また、平成8年4月には、医学部看護学科を設置しました。平成15年10月に、旧香川大学と旧香川医科大学が統合し、新しい香川大学が誕生しました。平成16年4月には、国立大学法人香川大学となりました。

香川大学は、「世界水準の教育研究活動により、創造的で人間性豊かな専門職業人・研究者を養成し地域社会をリードするとともに、共生社会の実現に貢献する。」を理念として、「知」が価値を持つ時代、21世紀にふさわしい大学になろうとしています。また、個性と競争力を高めるために「地域に根ざした学生中心の大学」を目指しています。

瀬戸内の温暖な気候と豊かな自然に育まれた香川大学は、6学部、8研究科（2専門職大学院を含む）を擁し、専門分野のバランスが良い総合大学に発展しており、それらの機能を活かし、創造性豊かな人材を養成するとともに、「出口から見た教育の重視」を掲げ、教育の質を向上させ、国際的に活躍できる人材の養成に努めています。

平成14年4月には、教養教育と専門教育の有機的連携を図り、本学の教育目標を達成することを目的として、大学教育開発センターを設置しました。センターには、共通教育の実施責任を担う共通教育部、カリキュラム開発の企画を担う調査研究部及び外国語教育部を置き、大学教育の質的充実を図っています。





## 大学づくり委員会委員

香川大学は、教職員や学生の声を大学運営に活かすため、平成18年2月に、「大学づくり委員会」を設置し、教育の改善、環境の改善・向上等に関することについて協議し、未来に向かって個性輝く「学生中心の香川大学」づくりを推進することになっています。なお、委員会は現在、教職員7人、学生9人（学部学生4人、大学院学生5人）の計16人で構成されています。

## 学生指導担当教職員研究会

学生指導担当教職員研究会は、学生指導に関する諸課題について研究討議を行うことにより、学生指導を担当する教員・事務職員相互の啓発と理解を深め、学生指導の改善・充実を図ることを目的に、昭和51年度から、毎年度、開催しています。

今年度は、午前中、「学生支援における今後の課題について」と題し、サークル活動に関する諸課題について～顧問教員のあり方、安全管理体制・危機管理体制、盗難防止対策等～と、学生の相談体制について、研究討議を行いました。午後からは、「成功する学生参加型大学運営のコツを探る！」と題して、本学学生による事例紹介、また、他大学における事例紹介の後、6班に別れてワークショップを行いました。

## サークルリーダー研修会

サークルリーダー研修会は、各サークルの主将等に、リーダーとしての自覚を持たせるとともに、リーダーとしての資質の向上を図るため、また、サークル間相互の連帯を深めることを目的として、平成13年度から実施しています。

今年度は、約140人の学生が参加し、元高等学校校長（地元新聞客員論説委員、日本山岳会会員）による、「リーダー論について」と題する講演と、消防署職員による応急救護に関する講話と実践が行われた後、参加学生は7班に分かれ、「リーダーの心構え」、「リー



サークルリーダー研修会（応急救護実習）



サークルリーダー研修会（講演）



学生指導担当教職員研究会における学生からの事例紹介



学生指導担当教職員研究会「成功する学生参加型大学運営のコツを探る！」における班別討議

ダーへのバックアップ体制、また、「サークル活動中の事故防止策」等について、班別討議を行いました。